

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohsuka.com
URL（ホームページ） <http://www.m-ohsuka.com/>



“東日本大震災から10年 ～「あの日」に学び「あした」を守る～”

死者1万5,000人以上、行方不明者2,000人以上という甚大な被害をもたらした東日本大震災から10年が経過しました。

また、30年以内に70%以上の確率で発生すると想定されている南海トラフ地震では、これらの大震災を上回る被害が想定されています。

災害大国と言われている日本で暮らす以上、常に災害への対策を念頭に置いておく必要があります。

「あの日」に学び「あした」を守るために、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・減災対策の推進に向けて、取り組んで参ります。



震災直後の気仙沼市の様子

■令和3年第1回（2・3月）定例議会で決まったこと。【抜粋】

令和3年第1回定例市議会（2・3月議会）は、2月22日から3月23日の30日間開催されました。

令和3年度一般会計予算等の予算議案22件、条例議案22件、人事議案5件、報告4件、その他議案1件、意見書1件、決議2件の計57件が上程され、意見書1件を除く議案を原案通り可決しました。なお、継続審査となっていた請願は不採択と決しました。

1. 令和2年度一般会計補正予算（第7・8号）；補正額2億1,234万円

（補正後予算額538億3,759万円）

□放課後児童健全育成事業（新型コロナウイルス対策関連）；1,175万円

・新型コロナウイルス感染症対策及びICT化の推進に係る経費（児童クラブの手指消毒用アルコール、マスク、備品等）

□児童福祉運営事業（新型コロナウイルス対策関連）

；3,410万円

・新型コロナウイルス感染症対策に係る経費（公立・私立保育施設の手指消毒用アルコール、マスク、備品等）

□急傾斜地崩壊対策事業；1,220万円

・県が実施する道の上地区（本耶馬溪）、深耶馬地区（耶馬溪）、芝原地区（耶馬溪）、平田中村地区（耶馬溪）の負担金



急傾斜地崩壊対策事業

□道の駅耶馬トピアパーキングエリア整備事業；2,500万円

・駐車場整備工事

□小学校トイレ洋式化改修事業；5,780万円

・豊田小、小楠小、上津小学校

□豊陽中学校施設大規模改造事業；1億5,004万円

□中学校トイレ洋式化改修事業；1億2,740万円

・中津中、今津中、三光中学校

□児童福祉施設従事者慰労金支給事業；5,170万円

・保育施設や児童クラブ等の児童福祉施設の従事者(1,034名)に5万円/人を支給する。

□中小企業者等特別応援金支給事業；4億6,540万円

・R2年12月からR3年2月までのいずれかひと月の売上が前年同月比で20%以上減少している中小企業者に応援金を支給する。(約2,400件)

・法人；一律20万円、個人；15万円、飲食・喫茶店営業には10万円を加算



耶馬トピア整備イメージ

2. 令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)

資本的支出；補正額2億2,200万円

(補正後予算額17億8,950万円)

□角木ポンプ場建設改良事業；2億2,200万円

・雨水ポンプ場建設に伴う詳細設計及び調査費

・排水面積；179.7ha(蛸瀬、大塚、新大塚、
闇無、角木エリア)

・ポンプ能力；排水量7.5m³/秒

道路冠水エリア図(2018.7.6~7) ※冠水高は7/7 6時現在



2018年7月豪雨の浸水状況

3. 令和3年度一般会計予算；当初予算額416億327万円

(前年度対比増額4,691万円、伸率0.1%)

(1) ソフト事業の新規・拡充事業(抜粋)

□防災事業(ボランティア活動保険料)；23万円

・防災士が災害時に避難所運営等で活動する際のボランティア保険に加入

□排水ポンプ設置管理事業；3,640万円

・仮設排水ポンプを9地区に設置(新たに北門通地区に設置)

□結婚新生活支援事業；300万円

・結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用を支援するため、以下の3つの要件を充たす夫婦に対し、1組あたり30万円の補助を行う。

①旧下毛地域を新居とする、②夫婦とも婚姻日における年齢が39歳以下、③世帯所得が400万円未満(世帯年収約540万円未満に相当)

□放課後児童クラブ(総合庁舎実施分)運営事業；712万円

・中央町の中津総合庁舎付属棟で放課後児童クラブ(なかつ中央児童クラブ)を運営

・R3年度は、待機児童が発生した校区となかつ中央児童クラブ間の移送を行う。

□保育士就職応援金事業；150万円

・民間の新規採用保育士に対して、就職応援金(一人あたり10万円)を給付



角木・新大塚仮設排水ポンプ

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業； 2億1,714万円
 - ・ワクチン接種体制の確保及びワクチン接種に係る経費
- 一般廃棄物収集運搬事業； 2億8,343万円
 - ・びん、缶の収集（月1回⇒2回）、ペットボトルの収集（下毛地区月1回⇒2回）
 - ・容器包装プラスチック；月2回（今年7月より実施）、リサイクル処分費用2,475万円
- 生ごみキエーロ普及促進事業；160万円
 - ・生ごみの減量を図るため「生ごみキエーロ」の購入費を助成（合計100基）
 - ・販売価格；大5,000円、中4,000円、小キャスター付き4,500円
- 風倒木被害軽減対策事業；1,000万円
 - ・風倒木による停電被害や道路寸断を未然に防止するため、電力会社と連携し、倒木によって被害をもたらす可能性のある立木等を事前に伐採する。



生ごみキエーロ

(2) 普通建設事業の新規・拡充事業（抜粋）

- 移住・定住支援事業； 850万円
 - ・旧下毛地域の空き家改修・建替えやUターンによる実家の改修に補助金を支給する。（補助率50%、上限50万円）、R3年度より旧下毛地域内の新築住宅建設補助を追加
- ごみ処理施設整備事業；9億4,933万円
 - ・焼却施設及びリサイクル施設設備改修工事
- 宮永角木線街路事業；8,660万円
 - ・道路改築工事、用地取得、家屋補償等
 - ・工事完成予定；R8年度末
- 非常備消防施設整備事業；5,761万円
 - ・消防団詰所造成工事（三保）、耐震性貯水槽新設工事（耶馬溪・福土）、消防団ポンプ車両更新（大幡、植野）
- 小学校整備事業；3,006万円
 - ・鶴居小駐車場整備工事、如水小駐車場用地取得・整備工事
- 緑ヶ丘中学校校舎増築事業；2,120万円
 - ・外構工事、植栽撤去移設工事
- 耶馬溪公民館整備事業；1,896万円
 - ・造成測量設計委託、実施設計委託
 - ・総事業費；約3億円、R4年度解体・造成工事、R5・6年度建築・外構工事、R6年度完成予定
- 文化会館・リルドリーム整備事業；5,280万円
 - ・文化会館音響設備更新工事、リルドリーム音響設備更新工事



拡幅工事が進む宮永角木線



複合施設となる耶馬溪公民館

4. 令和3年度下水道事業会計予算（資本的支出）； 25億9,674万円

- 角木雨水ポンプ場整備事業；1億9,500万円
 - ・ポンプ場の整備に係る用地境界測量等の委託、用地等の補償
 - ・総事業費33億円、R7年度完成予定

5. 令和3年度水道事業会計予算（資本的支出）； 31億8,100万円

- 三口配水池増築事業；13億4,770万円
 - ・配水池容量を増強するため低区配水池（6,900 m³）の増設、高区配水池（700 m³）の建て替え
 - ・総事業費16億7,541万円、R4年度完成予定
- 三口浄水場浄水施設増強事業；3億500万円
 - ・水道管の破損や寒波による漏水への対応を強化するため、可搬式ろ過装置（1,000 m³/日・台）を3台購入



既存の三口浄水場配水池

6. 条例の一部改正（抜粋）

- 中津市廃棄物の処理及び再利用に関する条例等の一部改正
 - ・ごみ減量・資源化を目的に家庭ごみのうち「燃やすごみ」、「燃えないごみ」を指定された有料ごみ袋で排出してもらうもの
 - ・実施時期；規則で定める日（社会経済情勢などを十分に考慮した上で決定）
 - <燃やすごみ>40 ㇿ袋 40 円、30 ㇿ袋 30 円、20 ㇿ袋 20 円、10 ㇿ袋 10 円
 - <燃えないごみ>40 ㇿ袋 40 円、20 ㇿ袋 20 円、10 ㇿ袋 10 円
 - ・クリープラザの持ち込み手数料の引き上げ
 - <家庭系ごみ>10kg以下；無料⇒66円、20kg；66円⇒132円
 - <事業系ごみ>10kg以下；110円⇒150円、20kg；220円⇒300円

◆中津市廃棄物の処理及び再利用に関する条例等の一部改正に対する附帯決議
 コロナ禍の今、家庭系ごみの有料化や事業系ごみの持ち込み手数料の引き上げの実施時期は、コロナ感染症の状況や社会経済情勢の回復の見通しが立った段階で、市民や事業者、各種団体、議会等の意見を踏まえ施行期日を決定すること等の付帯決議を採択しました。

7. 人 事

- 中津市副市長の任命 前田 良猛（満63歳、田尻在住） 再任

8. 意見書（私たちの会派で提出）

- 日本政府に核兵器禁止条約の参加、調印、批准を求める意見書 **【不採択】**



9. 請 願

- 家庭ゴミ無料収集の継続を求める請願書 **【否決】**

※私は、コロナ禍の今、市民や事業者に負担を強いる有料化は実施すべきではないとの判断から賛成しました。

10. 決 議

- 新型コロナ緊急事態宣言地域内とその周辺自治体との地域経済支援の格差を是正し、地域事情に応じた支援が行われることを強く求める緊急決議 **【採択】**（国・大分県へ提出）

2・3月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 持続可能な財政の確立に向けて
 - ①中津市の財政に赤信号が点滅か
 - ②財政の健全化に向けて
2. ごみの減量化に向けて
 - ①コロナ禍の今、なぜごみの有料化か
 - ②指定ごみ袋有料化の問題点
 - ③容器包装プラスチックの分別回収に待ったを
3. 寒波に負けない水道事業へ
 - ①凍結による漏水の状況
 - ②5年前の反省は活かされたのか
 - ③各家庭の給水装置の寒冷地対策
 - ④漏水個所の早期発見に向けて
 - ⑤災害時給水量の確保



1. 持続可能な財政の確立に向けて（抜粋）

〔情勢〕平成17年3月1日の市町村合併からまる16年が経過しました。合併当時の地方交付税120億円が合併15年後には30%以上削減されるとの危機感から、持続可能な財政の確立に向けて、行財政改革を推進してきました。

しかし、令和元年度決算では、財政構造の弾力性を表す経常収支比率が98.7%に達し、令和2年度決算で100%を超過し、市財政に赤信号が点灯する状況も危惧されます。

（1）中津市の財政に赤信号が点滅か

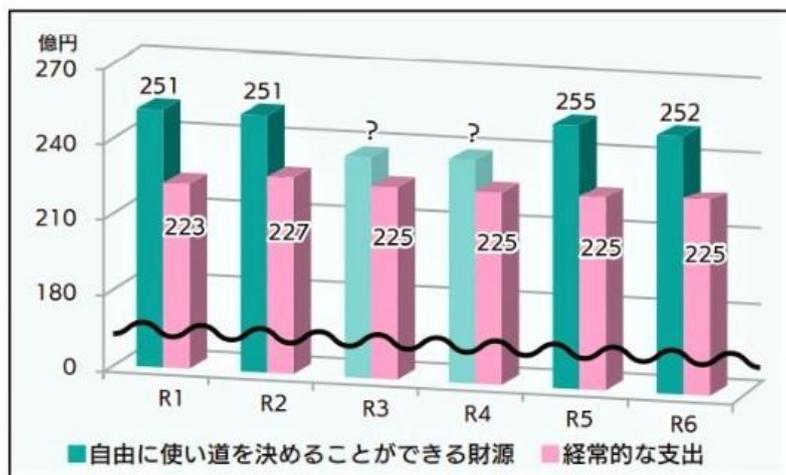
＜質問＞第3期行財政改革を実行中に、このような財政状況に陥った原因は、計画段階での財政推計と財政健全化目標が甘かったと言わざるを得ません。

そこで、現在の財政状況と今後の財政見通しに対する市長の認識をお伺いします。

【答弁】近年、少子高齢化の進行や自然災害の多発等により、多くの地方自治体で、厳しい財政状況が続いてきています。

中津市も例外ではなく、限られた財源の中で、いかに必要な施策を行っていくか、常に知恵を絞ってきました。

そうした厳しい中で、コロナ禍がさらに状況を悪化させており、令和3年度当初予算では、財政調整基金の繰入を大幅に増やすなど、財源確保に苦心しました。



【財政見通し（財政事情の公表 R3年1月15日号）より】

今後も「安心づくり」、「元気づくり」、「未来づくり」に必要な施策は確実に取り組む一方で、行財政改革を着実に進めていく必要があると考えています。

＜質問＞一般的に、経常収支比率は、70%～80%の間が理想とされますが、85%で黄色信号が点滅、95%で赤信号が点滅、100%超えて赤信号が点灯とされています。

杵築市は平成30年度決算で100%を超過し、非常に厳しい行財政改革を推進しています。

そこで、直ちに、財政健全化に向けた実効性ある財政推計を策定すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】財政推計は、毎年度の当初予算編成後に公表しているところです。今後の取り組みの方針については、行政サービス高度化プランが令和3年度、計画期間の最終年度となることから、成果検証等を行いながら、コロナ禍における持続可能な行財政運営を念頭に、次期プランの中で検討を重ねていきたいと考えています。



(2) 財政の健全化に向けて

＜質問＞中津市の公共施設白書では施設保有面積は類似団体の1.4倍となっています。現在の厳しい財政状況から脱出するためには、公共施設の統廃合は待ったなしです。

計画どおりに「延べ床面積を40年間で20%削減」ではなく、10年間を目途に20%削減を達成し、物件費、補助費、維持補修費の削減を図る必要あると考えますが如何ですか。

【答弁】統廃合には多額の費用が必要となりますので、交付税算入率の高い起債等の特定財源の活用や、PFI等の公民連携手法の活用を視野に入れながら、統廃合することが適切と判断された施設は順次、統廃合に取り組みます。

一方で、厳しい財政状況を改善するには、施設のランニングコストの改善も重要です。

令和元年度における、一般会計の行政財産に属する公共施設(340施設)の収支赤字額の累計は、およそ31億1,800万円でした。公共施設の収支赤字幅を小さくする取り組みを重点的に行うことにより、現下の財政状況の改善につながるのではないかと考えています。

2. ごみの減量化に向けて (抜粋)

〔情勢〕今年2月8日、中津市廃棄物減量等推進審議会は、昨年6月の諮問を受け、9回の審議を経て、奥塚市長に対して「ごみ減量・資源化を推進する施策について」答申を行いました。

答申書のおわりに、「施策の実施時期は、社会情勢などを十分に考慮したうえで決定されるよう要望します。」と結んでいます。



(1) コロナ禍の今、なぜごみの有料化か

＜質問＞2月9日の大分合同新聞に、奥塚市長は答申を受けて、「ごみ袋有料化の導入時期について、2021年度中に実現できるよう準備を進める。コロナ禍の影響もあるので慎重な判断が必要との考えを示した。」と掲載されています。他市では住民説明会等で1年以上の準備期間を要して周知を図った例も多々ある中で、「2021年度中に実現」と発言した真意について伺います。

【答弁】市では、循環型社会の形成の推進、脱炭素社会の実現に向けて、ごみ減量・資源化の更なる推進が喫緊の課題です。その具体的な施策として、審議会から容器包装プラスチックの分別収集やごみ袋の有料化の導入なども含めて、施策の一体的な取り組みが必要との提言がありました。

今後は、この答申に基づき、これらの必要な施策について、できるだけ早く一体的な取組みを進めるために、令和3年度からそれぞれの施策実施に向けた準備をしっかりと整えます。

なお、実施時期については、社会経済情勢等を十分に考慮したうえで決定することになりますが、ごみ袋有料化制度も含め、一体的に取り組むこれらの施策について、それぞれの制度開始時に混乱することがないように、市民、事業者の皆さんへの周知期間を十分に確保し、説明会の開催や市報などを通じて、丁寧にご説明申し上げることとしています。

＜質問＞3月議会に家庭系ごみの有料化や事業系ごみの持ち込み手数料の引き上げに関する条例や予算が上程されていますが、コロナ禍の今、市民や事業者に負担を強いる有料化等は実施すべきではないと考えます。

そこで、市長は、何月から実施する予定なのか伺います。

【答弁】現時点で、ごみ袋有料化制度や事業ごみの搬入料金の改定の実施時期は決まっていません。実施時期は、審議会からの答申に、“社会経済情勢などを十分に考慮して”とする意見を付記していただいていることをしっかりと念頭に置いて、その判断は慎重に行う考えです。

(3) 容器包装プラスチックごみの分別回収に待ったを

＜質問＞中津市の財政に赤信号が点滅している中で、容器包装プラスチックごみの回収・処分費用（一般財源約6,000万円）の支出は市の財政を圧迫します。

また、容器包装プラスチックごみを分別収集し、固形燃料化する場合、収集、熱処理、焼却等を含めたライフサイクルアセスメントでは、二酸化炭素の削減効果が期待できない等の問題があります。

市の財政が持ち直し、プラスチック製品の一括回収に対する制度設計が明らかになるまでの間、ごみの分別意識を高める努力をすることとし、容器包装プラスチックごみの分別回収の開始時期を延期すべきと考えますが如何ですか。



【答弁】喫緊の課題であるごみ減量・資源化を推進し、環境への負荷をできる限り低減する循環型社会の形成、脱炭素社会の実現に向けて、必要な施策をできる限り早く実施したいと考えており、容器包装プラスチックの分別収集は、計画どおり令和3年7月から実施する考えです。

3. 寒波に負けない水道事業へ（抜粋）

〔情勢〕今年1月8日から10日の寒波の襲来で、水道管やボイラー等の給水装置が凍結により破裂し、1,070箇所の漏水が発生しました。この漏水により旧中津市内において8日から14日の7日間、給水制限を実施せざるを得ない状況が発生しました。

(1) 災害時給水量の確保

＜質問＞浄水場の配水池貯留能力は、他市の平均24時間の52%しかありません。漏水や災害時の給水量を確保するため、配水池の増設を早期に実施すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】配水池は、令和3年度に配水池増設及び高架水槽の更新を開始し、令和4年度中に完成の予定です。これにより、三口浄水場の配水池容量が6,900m³増え、現在の約2倍になります。



活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
1月1日	(水)	地元八社神社元旦祭
1月4日	(月)	本耶馬溪支所分会新春旗開き
1月5日	(火)	新年挨拶回り(組合)、新大塚町自治会会計監査
1月9日	(土)	寒波による給水制限調査
1月14日	(木)	厚生環境委員会傍聴、会派打合せ
1月17日	(日)	新大塚地区防犯パトロール、新大塚町農業関係者初寄り
1月18日	(月)	闇無町水路改修の現地調査
1月19日	(火)	本耶馬溪町の土砂崩れ現地調査
1月22日	(金)	ゴミの不法投棄現場調査(蛸瀬川)
1月25日	(月)	なかはく開館1周年記念特別展「発掘された日本列島2020」
1月27日	(水)	中津市財政問題の勉強会
1月29日	(金)	終末処理場周辺環境整備事業の地元説明会
1月31日	(日)	生ごみ減量化の実証実験(コンポスト容器)
2月2日	(火)	北部校区防災士協議会役員会、なかつ耶馬溪活き域きネット理事会
2月5日	(金)	凍結による漏水対策の調査(宇佐市)
2月6日	(土)	平成会2月例会
2月7日	(日)	お札・しめ飾りお焚き上げ(八社神社)
2月8日	(月)	3月議会一般質問通告、総務企画消防委員会、議会運営委員会
2月10日	(水)	執行部と一般質問内容の打合せ
2月12日	(金)	会派打合せ
2月15日	(月)	3月議会招集・議案発送、水道配水管理システムの調査
2月16日	(火)	市議会全員協議会【コロナ感染症対策】
2月17日	(水)	県政市政対策会議
2月18日	(木)	3月議会議案質疑通告
2月19日	(金)	議会運営委員会、地方財政セミナー、会派打合せ
2月20日	(土)	やばけいゆ〜らんサイクルロゲイニング
2月21日	(日)	新大塚町自治会総会、新大塚地区防犯パトロール
2月22日	(月)	3月議会開会、総務企画消防委員会
2月24日	(水)	寒波による給水制限のヒアリング
2月26日	(金)	角木雨水ポンプ場整備計画地の現地調査
2月28日	(日)	青の洞門を青に染めるプロジェクト「ネモフィラ畑草取り」
3月1日	(月)	3月議会一般質問
3月2日	(火)	3月議会一般質問
3月3日	(水)	3月議会一般質問
3月4日	(木)	中津日田道路(山移IC~下郷交差点)の現地調査
3月7日	(日)	農家民泊みどりさん家しいたけ駒打ち体験、ネモフィラ畑草取り
3月10日	(水)	3月議会議案質疑
3月11日	(木)	3月議会議案質疑、会派打合せ
3月12日	(金)	3月議会常任委員会(教育産業建設)
3月14日	(日)	新大塚町自治会役員会、なかはく収蔵品展『中津地誌』
3月15日	(月)	3月議会常任委員会(厚生環境)
3月16日	(火)	3月議会常任委員会(総務企画消防)
3月17日	(水)	3月議会常任委員会(厚生環境)
3月19日	(金)	3月議会自由討議、総務企画消防委員会
3月20日	(土)	明蓮寺御正忌報恩講
3月23日	(火)	3月議会最終日
3月26日	(金)	中津市都市計画審議会
3月27日	(土)	平成会総会



八社神社元旦祭



新大塚町自治会総会挨拶



お札・しめ飾りお焚き上げ



ネモフィラ畑草取り



しいたけ駒打ち体験



なかはく収蔵品展

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊のツイッターで検索して下さい。

編集後記(ひとりごと) コロナ禍は、対面を避けがちで「繋がり」が希薄になります。避ける毎日は、からだも心も窮屈です。休日には農耕接触で汗をかき、自然を観て、聴いて、匂って、味わって、触れてストレスを発散しています。(まさとし)